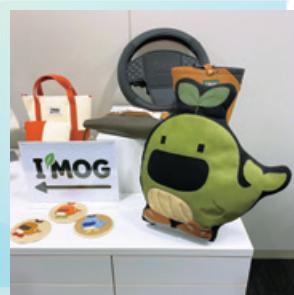


第106期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日



● トップメッセージ Top Message

株主の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。ここに当社グループの第106期の中間報告書をお届けいたします。

当中間連結会計期間における世界経済は、米国は堅調に推移しましたが、米国の関税政策などの影響により、欧州は足踏み状態となりました。また、中国は個人消費の伸び悩みと不動産市場の調整局面が継続し、回復が遅れました。

日本経済は、個人消費やインバウンド需要の回復の動きが見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇や米国の関税政策の影響など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、世界に、驚き・喜び・感動を提供し、人々の生活を豊かにする『グローバルソリューションプロバイダー』を長期的な目標に掲げ、それを見据えた3カ年の方向性を示す『中期経営計画-FY25～FY27-』を策定いたしました。社員一人ひとりの好奇心、多様な能力、ユニークなアイデア、ひらめきを大切にし、様々なテクノロジーを組み合わせたソリューションで社会に貢献することを目指し、3つの全社戦略（①選択と集中の徹底、②新たな価値の創造、③グローバル戦略の推進）を柱に、人材力や生産性・技術力等の事業基盤の高度化に取り組むとともにサステナビリティ経営を推進し、収益力の再構築・強化に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の売上高は、シューズの厳しい競争環境の継続による販売減やウレタンの寝具用の販売減の影響等がありました。フィルムのライフサイエンス分野とエクステリア分野向け、工業資材の半導体ウエハー搬送用及び製造工程用の部材の伸長があり、38,915百万円（前年同期比0.2%増）となりました。営業損益は、生産性の向上（コストダウン）、経費削減の徹底、価格改定の継続的な推進等に努めしたことにより、1,275百万円の営業利益（前年同期は449百万円の営業損失）となりました。経常損益は、受取配当金74百万円の計上や持分法による投資利益67百万円の計上等により、1,480百万円の経常利益（前年同期は471百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は、1,349百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

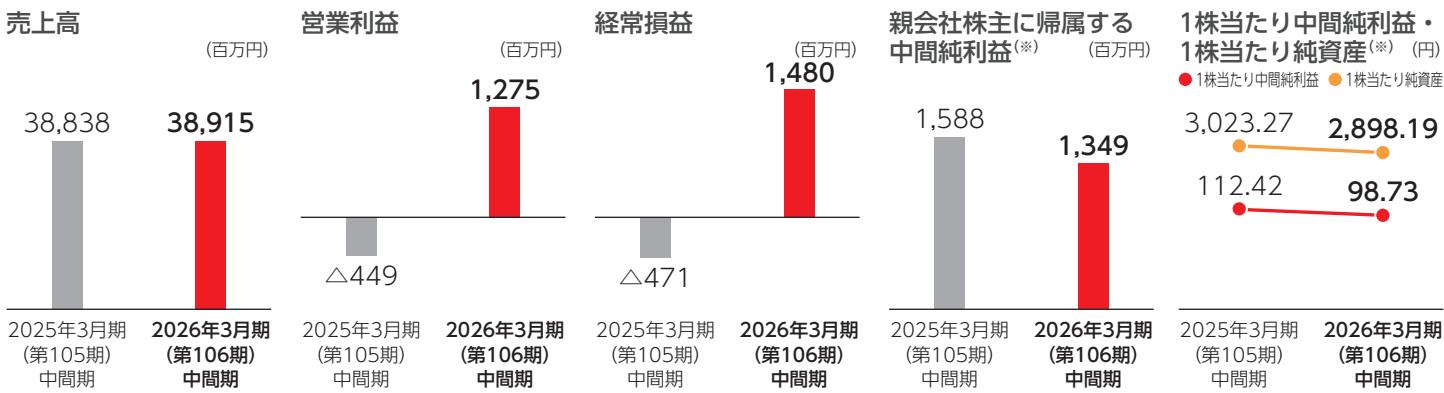
当社グループは、『中期経営計画-FY25～FY27-』を通じて、当社グループの企業価値向上・持続的成長に邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
日景一郎

2025年12月

● 連結財務ハイライト Financial Highlights



(※) 2025年3月期(105期)中間期は、特別利益に固定資産売却益2,304百万円を計上しております。

<https://koekiku.jp>



アクセスキー 51421tAC

アンケート回答期間：2025年12月8日～2026年2月7日

株主の皆様の声をお聞かせください

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝（Amazonギフトカード500円）を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキ」サービスにより実施いたします。

アンケートのお問い合わせ「コエキ事務局」koekiku@pronexus.co.jp

決算数値等の詳細は、当社
ホームページをご覧ください。
<https://www.achilles.jp/ir/>



● セグメント別事業の概況 Business Review

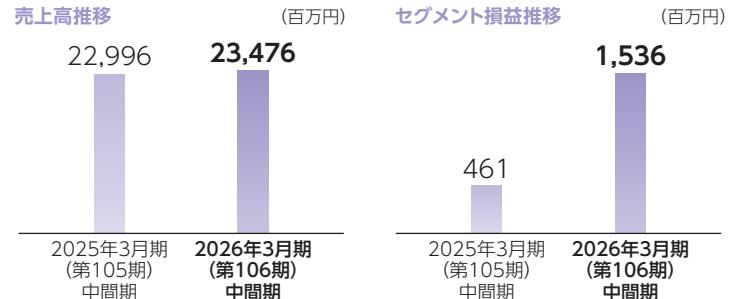
第一事業部

車輌資材BU、化成品BU、ウレタンBU、工業資材BU



■売上高 **23,476**百万円 (前年同期比 2.1%増) ■セグメント損益 **1,536**百万円 (前年同期比 233.0%増)

- 車輌資材は、航空機向けが堅調に推移するも、自動車向けが中国市場での日系自動車メーカーの生産減少の影響を受け、前年売上を下回る。
- ofilムは、ライフサイエンス分野とエクステリア分野向けの伸長に伴い、前年売上を上回る。
- ウレタンは、雑貨用が堅調に推移するも、寝具用が低調な状況が継続したほか、車輌用が北米市場における日系自動車メーカーの生産減少の影響を受け、前年売上を下回る。
- 工業資材は、半導体ウエハ搬送用および製造工程用の部材が大きく伸長したほか、医療機器向けRIM成形品も好調に推移し、前年売上を上回る。
- 第一事業部全体では、売上増および生産性の向上(コストダウン)による粗利増や償却費負担の減少等により増収増益。



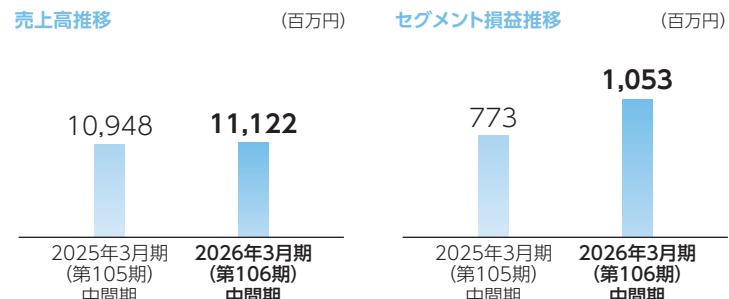
第二事業部

断熱資材BU、建装BU、防災BU



■売上高 **11,122**百万円 (前年同期比 1.6%増) ■セグメント損益 **1,053**百万円 (前年同期比 36.2%増)

- 断熱資材は、ボード製品、システム製品が堅調に推移したことにより、販売価格の改定等もあり、前年売上を上回る。
- 建装資材は、住宅市場低迷の影響を受けて伸び悩み、販売価格の改定等により、前年売上を下回る。
- 防災対策商品は、国内での販売が伸び悩み、前年売上を下回る。
- 第二事業部全体では、売上増による粗利増や販売費の削減等により増収増益。

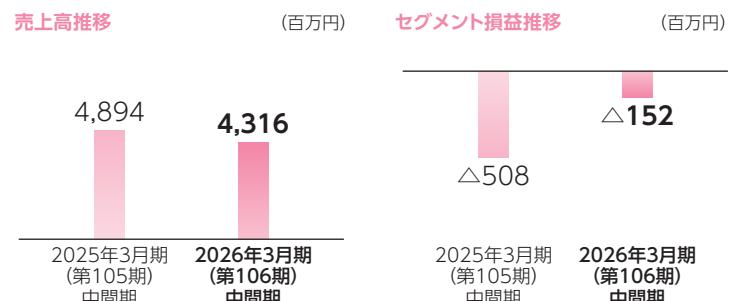


シューズBU



■売上高 **4,316**百万円 (前年同期比 11.8%減) ■セグメント損益 \triangle **152**百万円 (前年同期は \triangle 508百万円)

- ランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」が好調に推移。
- 全体としては、その他のブランドが厳しい競争環境の継続により苦戦し減収。
- セグメント損益は、販売価格の見直しやコストダウン、販売費の削減により損失が縮小。



注記 『中期経営計画－FY25～FY27－』に掲げた3つの全社戦略の実現に向けた組織再編の実施に伴い、報告セグメント区分を従来の「シューズ事業」、「プラスチック事業」、「産業資材事業」から「第一事業部」、「第二事業部」、「シューズBU(ビジネス・ユニット)」に変更しております。

● トピックス Topics

● アップサイクル製品「I'MOG(アイモグ)」のご紹介

当社は、“いらない”に寄り添うアップサイクルブランド「I'MOG(アイモグ)」を立ち上げました。

“ゴミ(GOMI)を生まれ変わらせ再生させたい”という思いから生まれた当ブランドは、従来ならば廃棄となる素材を、当社のシユーズ製造で培った縫製技術によりリサイクルし、新たな形で生まれ変わせるサステナブルな取り組みで、ブランド名やロゴデザインにもその思いが込められています。

2025年7月16日から18日にかけてAichi Sky Expo(愛知国際展示場)で開催された「人とくるまのテクノロジー展 2025 NAGOYA」では、当社ブースにてサンプルを展示し、取り組みだけでなくロゴやキャラクターも大きな反響をいただきました。その他、当社がスポンサーを務めるVリーグ加盟の男子プロバレーボールチーム「レーヴィス栃木」へこの取り組みで生まれた商品であるベンチ用クッションを提供するなど、活動の場を広げています。

今後も、「I'MOG」の活動を通じて、廃棄物の削減に取り組んでまいります。



I'MOGイメージキャラクター “モグ”



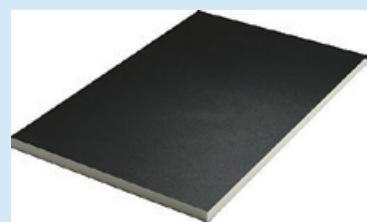
展示会の様子

● 「アキレスボードGFノンフロン(高密度)」と「アキレスボードWAL-D」が業界初の「SuMPO EPD」取得

当社は、建築用硬質ウレタンフォーム断熱材「アキレスボード」シリーズにおいて、一般社団法人サステナブル経営推進機構の運用する環境ラベル「SuMPO EPD」*を国内の発泡プラスチック系断熱材で初めて取得しました。



「SuMPO EPD」ロゴ



(上) 「アキレスボードGFノンフロン(高密度)」
(下) 「アキレスボードWAL-D」

カーボンニュートラルに向けた取り組みの重要

性が高まる中、国土交通省は2028年度を目指し、国内CO₂排出量の約4割を占める建築物分野において、建築物の計画から施工、運用、解体までのライフサイクル全体で排出されるCO₂を含む環境負荷を算定・評価する「建築物LCA (Life Cycle Assessment)」を促進制度の運用開始を目指しています。当社ではそれに先駆けて断熱材2品種で本環境ラベルを取得し、当該製品を用いた建築物の精緻なLCA算定を可能としました。

今後もカーボンニュートラル実現に向け、建築分野におけるCO₂削減に積極的に取り組んでまいります。

*EPD : ISOに基づく製品の環境インパクトを評価する国際環境ラベル

● 科学体験施設「IMAGINUS」で「瞬足足型測定会」開催

2025年8月23日、科学体験施設「IMAGINUS(イマジナス)」(東京都杉並区)にて、来場者を対象とした「瞬足足型測定会」を開催しました。

IMAGINUSは、閉校した小学校の校舎を活用し、工作体験や実験教室、サイエンスショーなどを通じて子どもから大人まで気軽に科学を楽しめる施設です。夏休み期間中の開催ということもあり、会場は多くの親子連れで賑わいを見せました。

足型測定会では、測定結果を基にシューフィッターによる専門的なカウンセリングも実施。IMAGINUSでの開催は今回が初となりましたが、初めて足型測定をされる方も多く、子どもの足の健康について理解を深めていただく機会となりました。

今後も、足型測定会などの足育(そくいく)活動を通じて、子どもたちの健やかな成長を支援してまいります。



「IMAGINUS」ロゴ



(上) 「IMAGINUS」外観
(下) 足型測定会の様子

● 会社概要／株式の状況 Corporate Date/Stock Information

● 会社概要 (2025年9月30日現在)

社 設 資 從 本 社	名 立 金 員 社	アキレス株式会社 1947年5月 14,640,795,671円 1,205名 〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー
関 西 支 社		〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階

営 業 所 場	北海道営業所／九州営業所 足利第一工場／足利第二工場 滋賀第一工場／滋賀第二工場 美唄工場／九州工場 ACHILLES USA, INC. 阿基里斯(上海)国際貿易有限公司 アキレスコアテック株式会社 関東アキレスエアロン株式会社 大阪アキレスエアロン株式会社 その他13社
連結対象子会社	

● 役員 (2025年10月1日現在)

代表取締役社長	日 景 一 郎
常務取締役	河 野 和 晃 (管理部門統轄兼CSR担当)
取締役	横 山 浩 樹 (中国・北米(製造)担当兼滋賀地区担当)
取締役	柳 川 達 也 (営業部門統轄兼第二事業部担当兼シユーズBU担当)
取締役	川 島 英 一 (製造部門統轄兼品質保証本部長)
取締役	越 智 久 生 (営業部門統轄兼北米担当兼第一事業部担当兼第一事業部長)
取締役	館 野 均
取締役(常勤監査等委員)	山 田 茂
取締役(常勤監査等委員)	菊 入 信 幸
取締役(監査等委員)	須 藤 昌 子
取締役(監査等委員)	笠 原 智 恵
取締役(監査等委員)	松 岡 一 臣

注記 取締役館野均氏、須藤昌子氏、笠原智恵氏および松岡一臣氏は、社外取締役であります。

● 株式の総数等 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	14,562,714株
株主数	10,971名

● 株式分布状況 (2025年9月30日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式896千株があります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剩余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	中間配当を実施するときは9月30日
単元株式数	6月中 100株

株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出など	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
未払配当金、その他当社株式関係書類について	右記みずほ信託銀行	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)について	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

